

地球環境

温暖化

- ・地球温暖化の進行

環境の問題であれば地球温暖化の解決を図っていくことが重要である。

→温暖化防止の啓発

- ・交通渋滞の緩和・マイカー通勤禁止日の設置（企業）

信号待ちが多く、CO₂ などに代表される排気ガスの排出削減のため公共交通機関の利用促進などが必要である。

→公共交通機関の利用促進

- ・森林保護・田畑の減少

以前は周りに当たり前にあった自然が少なくなってきたおり、身近に生息していたであろう生き物の姿を見る機会が少なくなった。

ため池などで釣りなど親子で学べる自然が減った。

→自然の保護

- ・家庭の環境家計簿の普及

意識向上のために、各家庭で実施できる環境家計簿などの実施が必要である。

→環境家計簿の推進

- ・もっと自転車の活用を推進すればよい。
- ・通勤時の自家用車利用率を下げ、公共の乗り物や自転車の利用を推進すればよい。
- ・コンパクトシティ化することで、中心市街地の活性化になり、自転車や公共交通機関を利用しやすくなる。

→CO₂ 排出量の少ない移動手段の推進

- ・市の公共施設に太陽光発電設備をもっと設置すればいい。

→公共施設への太陽光発電設備の設置

- ・新居浜市地球高温暖化対策地域協議会の登録団体数を増やす

→新居浜市地球高温暖化対策地域協議会の活動の推進

エネルギーの利用

- ・廃棄物からのエネルギー資源の回収

山の適正な管理やリサイクルを進めてバイオマスなどのエネルギーの回収が必要

- ・新エネルギーの普及・促進

環境負荷の少ない太陽光発電など新エネルギーは、今後の環境にとって重要であるため、補助事業などの継続が必要である。

→補助金の継続

3R

- ・プラスチック製品を紙や金属の製品に替えていく必要がある。ペットボトルを缶へ推進すればよいのではないか。
- ・プラスチックごみによる海洋汚染対策が必要。
- ・プラ製品の減少化

海洋プラスチックの問題など地球環境を守るためには、プラスチック製品の使用を抑えるべきである。

→ 3 R の推進

その他

- ・全体に係ること

アピール（啓発不足）が感じられる。

環境に関する児童生徒への教育が必要である

- ・遊休地の利用

遊休地を効果的に利用することで、荒れ地の増加を防ぐことができるのではないか。

- ・耕作放棄地の森林化防止

耕作放棄地が増えてきているように感じる。耕作放棄地が増えると地域の環境悪化に繋がるため対策が必要である。

生活環境

斎場・墓

○少子高齢化、人口減少により、葬祭や墓所管理が負担になっている。

○弔い方法（仏壇の廃棄など含む）に対する考え方が変化している。

→ 無縁墓・墓じまいの増加・葬儀の規模縮小などへの対応

外来生物対策

○既存の生態系を守るため、セアカゴケグモなど害ある外来生物の侵入対策の強化が必要

→ 外来生物の侵入対策の推進

愛護動物

○ペットの放棄や、野良犬や猫などの動物に対する接し方の啓発、また、糞などの環境対策も必要である。

○道路などの公共の場所や他人の敷地などでのペットの糞の未処理などが見られる。また、無責任に思える野良犬や猫などへの餌やりに対する指導強化が必要である。

○野良猫によるふん害で困っており、野良猫を減らす対策を取って欲しい。

→ 愛護動物の飼い方の啓発

→ 野良犬・野良猫の繁殖対策

道路管理

○水路などに落葉が溜まることにより、虫の発生や悪臭の発生確率が増すため対策が必要。

空き家対策

○少子化などにより空き家となっている建屋が増加していることなどから、虫の発生や匂いなど快適な生活環境を維持しているためにも解体費などの補助などの支援が必要と考える。

○空き家の放置により、草木が伸び放題になり環境が悪化する。

○空き家にスズメバチが巣を作り、増えている

→適切な空き家の管理

公害防止

水質汚染

○海や川が汚れ、自然の中で水遊びなどをしなくなった。

→海や河川の水質浄化

大気汚染

○黄砂なども影響もあり、大気汚染が進んでいることが懸念される。

→環境監視の継続

野焼き

○野焼きで困っている。野焼きを減らしたい。

→公害苦情の処理

→廃棄物の適正処理の指導

ごみ・し尿処理

分別

○定期収集でのより効果的な分別種別の見直しや新たな分別種別の設定などが必要。

→時代に即した適正なごみ収集の検討

○未分別のまま排出されるごみもあり地域での管理も大変になってきている。特に燃やすごみでは生ごみなど匂いや水切りが不十分で環境負荷がでるものも多く、より適切な啓発及び指導が必要。

○未分別でのごみの排出は、ごみステーションの管理への支障が出るだけでなく、スムーズな収集の実施を妨げることになる。

○ごみの分別方法を分かっているようで分かっていない人が多いと思う。特にプラスチック製容器包装が分かっていないと思う。もっと啓発が必要である。

→ごみの分別方法の周知

○食べ物を必要以上買わないことでごみが減る。

○食品ロスの削減については、直接的なごみの減量だけでなく守るべき地球のエネルギーとしても無駄をなくしていく対策を講ずる必要がある問題である。

→食品ロス削減の推進

ごみステーションの管理

○ごみステーション管理者に対する補助金などの支援も有効なものであると考える。

○ごみステーションの未管理など地域の環境負荷への悪影響や管理のマンパワー不足の問題がある。

○ごみステーションのごみをカラスに荒らさせることが多々ある。防鳥ネットをもっと普及させるべき。

→ごみステーションの適正管理の推進

○ごみステーションなどへの事業系ごみの不適切排出などごみ出しのルール徹底が必要である。

→ごみの不適切排出への対応強化

ごみの減量・有料化

○ごみ処理に係る適正な負担の考え方から家庭ごみの有料化は有効である。

○リサイクル資源を増やすために資源ごみ集団回収団体を増加させる必要がある。

○草をごみで出すときは乾かして出すようにすればごみの減量につながる。

→ごみの減量・3Rの推進（有料化含む）

清掃センターの長寿命化

○ごみ処理施設の延命について。清掃センターを新たに建設するとなると莫大な費用がかかる。清掃センターを延命しても広域で処理する等の将来的にどうするか検討が必要。

○多額の費用を投入している施設である清掃センターでより長くごみを処理するために延命化など適正な管理が必要である。

→施設の適正管理

不法投棄

○ごみを捨てられやすい河川などの除草や伐木を行う。

→土地管理者の管理強化

○不法投棄が無くならないため、監視カメラを設置する。抑止効果も期待できる。

○ポイ捨てが減らないため、パトロールによる監視を行う。

○ごみの有料化など排出に関する規制を実施することによって生じる不要投棄への対策などの対応が必要である。

→不法投棄監視体制の強化

3R

○大手スーパーだけでなく、小規模な小売店も含めてすべての販売店において実施が望ましい。

→ごみ処理に対する意識改革の推進